

令和4年度外務大臣表彰の発表

令和4年8月4日
在ジュネーブ領事事務所

この度、日本外務省は、クラウディオ・アレッシ氏、三上和廣氏、ジュネーブ・品川友好協会に、外務大臣表彰を授与することとしました。

クラウディオ・アレッシ氏は、世界大会、欧州大会、スイス大会等の多くの空手大会で優勝した実績から、1999年から極真空手スイス支部（SKK0）ヘッドコーチとして300名以上の空手家に指導を行っています。また2002年には、この経験を生かして障害者への支援を行うためにNGO団体「No Difference」を設立し、以来20年にわたり、空手の技術・精神を取り入れた武道・スポーツの指導を通じて障害者への支援を行うと共に、武道紹介イベントの開催、書籍の出版、メディアでの発信等の幅広い活動を通じ、武道の精神を中心とする日本文化の普及と対日理解の促進に大きく貢献しました。

三上和廣氏は、1966年にスイスにおける柔道指導者としての活動を開始し、以来50年以上にわたり同国における柔道の普及に取り組んできました。スイスの公立高校における体育の授業で初めて柔道の指導を行ったほか、国内各地での巡回指導や指導員の指導及び認定にも携わりました。1975年には自身が代表を務めるローザンヌ・三上柔道教室を創設し、年間1000名以上の指導を通じて、五輪メダリストや全国大会優勝者を複数輩出し、柔道を通じた日本文化の普及と対日理解の促進、両国間の友好親善に貢献しました。

ジュネーブ・品川友好協会は、1991年にジュネーブ市と品川区が友好憲章を締結したことをきっかけとして、両自治体の交流事業を推進する目的で1992年に設立。以来30年にわたり、両自治体の公式訪問や青少年のホームステイ交流の各種調整を通じて自治体外交に貢献してきたほか、同協会自身の取組として、奨学金事業、多数の日本文化紹介事業の実施等を通じて、教育、文化、芸術、経済等の幅広い分野において、両国間の相互理解及び友好親善の促進に貢献しました。

在ジュネーブ領事事務所は、クラウディオ・アレッシ氏、三上和廣氏、ジュネーブ・品川友好協会によるこれまでの貢献及び協力を改めて感謝するとともに、外務大臣表彰の受賞に心から祝意を表します。

外務大臣表彰は、多くの方々が国際関係の様々な分野で活躍し、我が国と諸外国との友好親善関係の増進に多大な貢献をしている中で、特に顕著な功績のあった個人や団体について、その功績を称えるとともに、その活動に対する一層の理解と支持を国民各層にお願いすることを目的としています。